



# 11

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年7月19日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター



東京五輪1年前企画

## TOKYOスイッチ 第2部

23日(木・祝)から=社会面



東京オリンピックは23日に再び開幕1年前を迎えます。新型コロナウイルスの影響で延期され、大会規模の簡素化が模索されています。大会

ボランティアや聖火ランナー、被災地で「復興五輪」に期待を寄せていた人たちは今、何を思うのか。商業主義の偏重や肥大化が批判されてい

る近年の五輪の転換点になるのか。戸惑いや期待など人々の思いを伝え、再考します。

【写真説明】お台場海浜公園内の水上に設置されている五輪マークのモニュメント=2020年5月8日撮影

## 特集ワイド コロナで意識変化、家族重視

坂井豊貴慶大教授

20日(月)

=夕刊特集ワイド

新型コロナウイルスの感染拡大は、それまで当たり前だった日常を一変させました。感染リスクや経済活動への打撃など負の影響は計り知れませんが、その半面、人々の意識は仕

事より生活や家族を重視する方向にシフトする兆しがあり、コロナ禍が強いた「自粛生活」による前向きな変化もみられます。再び感染拡大の傾向がうかがえる今、坂井豊貴慶大

大教授=写真=と一緒に、改めて考えてみました。



鎌田實さん・さだまさしさん

介護を語る

23日(木・祝) II 暮らしナビ面

高齢者施設など新型コロナウイルス感染者が相次いでいるのを受け、介護事業所で感染防止を学ぶ講習会を、公益財団法人「風」が各地で開催しな

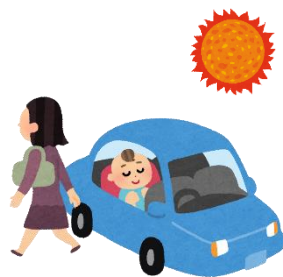
支那の現状と支援について、東京の介護事業者が、介護の現状と

## ? なぜ子供を夏の車内に残してしまうのか

25日(土) = 暮らしナビ面

子どもを車内に置き去りにして、熱中症などで死なせてしまう事例が毎年のように起きています。「子どもを忘れるなんて信じられない」と思われるかもしれませんが、「実際に忘れそうになった」

という声も聞かれます。専門家は「子どもに愛情があっても、一時的に存在を忘れてしまうことはありえないことではない」と指摘します。どうすれば防げるかを考えました。



頭の白球を追いかけていたのはもう9年前のことですが、今でも甲子園のサイレンを聞くことは胸が躍ります。今年はその気持ちも味わえない、そう思っています。甲子園高校野球交流試合が開催されることに感銘を受けています。毎日新聞は大会終了まで特設面を割いて、球児の夏を応援しています。感染防止対策が施された夢の舞台で、忘れられたものがないようにしたいです。(高橋将平)



都内で語り合いました。

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。